
介護福祉事業部



愛生訪問看護ステーション

管理者 七村 裕美子

➤ 特徴

当事業所が活動している名古屋市北区は高齢化率が28.7%で市内16区において第2位と高く、生活保護受給率も常に上位にあるエリアです。私達は独居高齢者や高齢夫婦世帯、生活保護受給世帯でも住み慣れた自宅で最期まで過ごしたいという利用者さまの意思を大切にしたいという思いから、「あなたが生きる場所（自宅）で、あなたらしく生きられるように私たちが支えます。」をキャッチコピーにサービスを提供しています。

➤ 今後の目標

地域包括ケアシステム内において医療と介護に関わる私たち訪問看護が、医療機関と在宅部門の橋渡し役を担い多職種との連携・協働によりスムーズに在宅移行できるよう支援していきます。はち丸ネットワークを活用し多職種とリアルタイムで情報共有し連携の強化を図ります。

また、高齢化地域であるこの北区で訪問看護の啓蒙活動を強化し、私達の看護を一人でも多くの方へ提供できるよう地域貢献活動にも積極的に参加していきます。

あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

➤ 特徴

「住み慣れた自宅で安心して生活したい」と願う利用者さまへ家事援助から身体介護まで幅広くサービスを提供し、自立度の高い在宅生活を支援しています。喀痰吸引や経管栄養の処置も可能であるほか、通院介助や共有部分の掃除など、介護保険外のサービスも実施しています。より幅広い介護ニーズに対応出来るよう日々職員のスキルアップに努めています。

➤ 今後の目標

これまで以上に地域の皆さまとの交流を通じ、活動の周知を図るとともに、法人内外のケアマネジャーと連携していきます。今後は土日祝含め365日ヘルパーサービスが提供できるよう稼働体制の構築を目指します。これからも併設の愛生複合型サービスセンターやこもれびの家と連携し、周辺地域の介護拠点としてより多くの皆さまにサービス提供できるよう努めてまいります。

愛生居宅介護支援事業所

管理者 今枝 敬典

▶ 特徴

愛生居宅介護支援事業所は介護支援専門員9名、うち主任介護支援専門員4名の体制で運営しています。要支援者から中重度要介護者まで幅広く対応し、24時間の相談連絡体制を敷いています。早期介入、早期支援をモットーに医療介護の多職種協働の要として質の高いケアマネジメントを提供し、信頼され愛される事業所として地域福祉に貢献したいと考えています。

▶ 今後の目標

介護保険制度の理念に則り、介護（支援）等が必要な人の尊厳を保持し、その置かれている環境等に応じて、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう福祉系サービスと医療系サービスとが総合的かつ効率的に提供されるよう質の高いケアマネジメントを提供していきます。

愛生訪問看護ステーション平安通

管理者 瀧瀬 悠

▶ 特徴

24時間365日の訪問看護体制をとっており、訪問依頼は断らないことを基本姿勢としています。併設する施設や、ご自宅への訪問を行い、ご利用者様が自分らしく穏やかに生活できるよう、多職種・他機関と連携を図りながら支援しています。ご利用者さま・ご家族さまが安心して心地よい時間を過ごしていただけるように、どんな時でも笑顔を決やさず柔軟に対応させていただきます。

▶ 今後の目標

地域に根付いた訪問看護を行うために、地域と連携したセミナー活動を行っていきます。当事業所があるという安心感を提供できるよう、対話を大切にした在宅での看取りを積極的に行っていきます。また、有資格者によるフットケアを充実させ、身体機能の回復・維持を支援できるような取り組みを行っていきます。

愛生複合型サービスセンター平安通

管理者 石原 友美

▶ 特徴

当事業所は看護小規模多機能型居宅介護で、訪問看護・介護・通所サービス・宿泊サービスが一体的なサービスを提供します。同じスタッフが利用者に応じたサービスを提供するため顔が見える関係作りができ、安心して在宅生活を送れるように利用者様の状態に合わせた介護サービスを随時調整しています。医療処置はもちろん理学療法士によるリハビリ提供を行い、生活リハビリも含めて利用者様の自立支援を積極的に行っています。

▶ 今後の目標

当事業所のサービスの特徴を理解していただくために医療機関等に出前講座を開催し、看護小規模多機能型居宅介護（かんたき）のサービス案内を積極的に行います。また地域住民との交流ができるようなイベント開催を企画します。多くの方が利用できるようサービス調整を行い、地域の居宅支援事業所や施設とも連携していきます。

こもれびの家平安通

管理者 桑村 信子

▶ 特徴

住宅型有料老人ホームとして職員が24時間利用者さまに寄り添い、安心して生活していただけるよう支援させていただいています。また、併設する訪問看護ステーションスタッフと連携し、医療機関への早期対応に努めています。

ご家族様・介護居宅介護支援事業所との連携を密に行い介護支援の充実を図り、感染対策を留意しながら入居者様とご家族がいつでも面会できるように対応しています。

▶ 今後の目標

介護職員への喀痰吸引研修を進め、医療依存度の高い入居者様、看取りへの対応も積極的に行っていきます。また、レクリエーションや季節のイベントを積極的に開催し、入居者様に笑いのある日々と充実感のある生活を送っていただけるよう、真心こめた対応を行っていきます。

愛生複合型サービスセンター辻本通

管理者 石原 友美

▶ 特徴

当事業所は2022年10月1日に看護小規模多機能型居宅介護である愛生複合型サービスセンター平安通のサテライトとして開設しております。こちらでは、看護師と喀痰吸引等研修を終えた介護士が勤務しているため、24時間365日の喀痰吸引と経管栄養の対応が可能となっています。そのため通所や宿泊サービス等を利用することで、安心して在宅での生活を送ることができ、ご家族様の介護負担の軽減を図ることができます。

▶ 今後の目標

喀痰吸引や経管栄養等が必要な利用者様も安心して在宅支援のサービスを受けることができることを知っていただくために、医療機関等に出前講座を行っていきます。また学区のコミュニティセンターで健康相談等のセミナーを開催し地域交流を図っていきます。そして、利用者様の笑顔が増えるようレクリエーションも充実できるよう取り組んでいきます。